

製品名: リン酸化 JunD(S255)ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号:** AMRe83848

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウム、0.05% 保護タンパク質、50% グリセロールを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 35 kDa ; Observed MW: 38,42 kDa

抗原情報

遺伝子名	Phospho-JunD(S255)
別名	Activator protein 1; AP 1; Jun D; jun D proto oncogene; Jund; JunD FL isoform; Transcription factor jun D;;p-JunD (S255)
遺伝子 ID	
SwissProt ID	P17535
免疫原	S255 のリン酸化部位周辺のヒト JunD 由来の合成ペプチド

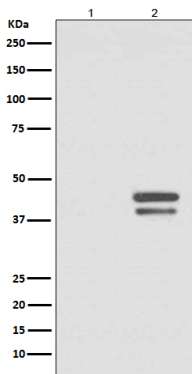
背景

AP-1 部位に結合する転写因子。FOS ファミリータンパク質とヘテロ二量体を形成し、AP-1 転写因子複合体を形成することで、AP-1 コンセンサス配列 3'-TGA[GC]TCA-5'への DNA 結合活性を高め、転写活性を増強する。

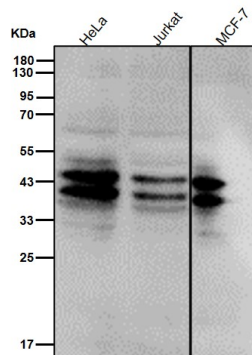
研究分野

-

画像データ



(1) アルカリホスファターゼ処理した HeLa 細胞溶解物、(2) HeLa 細胞溶解物における Phospho-JunD (S255) 発現のウェスタンブロット解析。



すべてのレーンでは、抗体を 1:2K 希釈で室温で 1 時間使用します。